

札幌くんねっぷ会

ふるさと思い 交流を深める

札幌くんねっぷ会（坂井輝幸会長）の24年度総会が7月28日、札幌市内のホテルで開かれました。会員やふるさと応援団合わせて約60人、訓子府町からは菊池町長や橋本議長、工藤総務文教常任委員長、久島商工会副会長ら7人が出席しました。

総会後の懇親会では、坂井会長のあいさつに続いて、菊池町長が訓子府町の近況を報告しました。

また、23年度の町制施行60周年記念事業として「訓子府村史復刻版」を発刊しましたが、この復刻版の販売も会場で行いました。

会員は、訓子府にちなんだクイズなどで、「ふるさと訓子府」の思い出を語り、発展も願いながら、楽しく、懐かしいひとときを過ごしていました。



交通安全指導員に

河合 清さん（旭町）

町交通安全指導員の職域枠（JAきたみらい訓子府地区事務所）で、今年4月30日付で退任した柴田 基さんの後任として、8月1日付で河合 清さん（旭町）を任命しました。

任期は、8月1日から平成26年1月19日までです。



交通安全指導員
河合 清さん

秋の全国交通安全運動

9月21日(金)から30日(日)までの10日間「秋の全国交通安全運動」が実施されます。

家庭や職場で今一度、交通安全に対する意識を高めましょう。

■重点目標

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- すべての座席のシートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶
- 幼児・児童および高齢者の事故防止
- 居眠り運転による交通事故防止

危険物取扱者試験準備講習

- と き 10月11日(木)12日(金)
- と ころ オホーツク木のプラザ
- 受付期間 10月4日(木)まで

■問合せ 消防署訓子府支署
(☎ 47-2419)

危険物取扱者・消防設備士試験

- と き 11月11日(日)
- と ころ 北見工業大学
- 種 類 全種全類
- 受付期間 書面申請
10月1日(月)～10月10日(水)
電子申請
9月28日(金)～10月7日(日)

■職員の分限および懲戒処分の状況■

分限処分とは、心身の故障、刑事事件での訴訟など職務が十分に果たせない場合などについて、公務能率の維持を目的に行う処分、懲戒処分とは、地方公務員法などに違反した場合や職務上の義務違反などに対して、秩序維持を図るために行う処分です。

◇職員の分限および懲戒処分の状況◇ 平成23年度

分限処分者数				懲戒処分者数			
降任	免職	休職	計	戒告	減給	停職	免職
—	—	—	—	—	—	—	—

■服務規律保持のための取り組み状況■

（職員通知 平成23年12月16日に実施）

町民の不信を招くことのないよう倫理保持および交通安全などについて、機会あるごとに注意を喚起し、服務規律保持を図っています。

■職員研修の状況■

職員研修については、職員研修審査委員会を開催し、毎年研修計画を定め、北海道市町村職員研修センター、管内町村会などで行われる研修をはじめ、庁内研修を実施し効果的・効率的な研修の実施に努めています。

◇職員研修の参加状況◇

区 分	内 容	参加者数
派遣研修	北海道市町村職員研修センター主催の業務改善、クレーム対応、地域政策研究など	3人
	管内町村会主催の初級職員、中級職員、JST（新任係長）・法務（基礎・応用研修）など	12人
	道開発局職員研修、管理監督者のメンタルヘルス、道外先進地事例研修、市町村アカデミー研修、全国小さくても輝く自治体フォーラム	14人
庁内研修	新規採用初任者研修	3人
	法制執務研修（係長職以下） コンプライアンス研修	49人 84人
その他研修	自主参加型グループ研修、まちづくり講演、救命講習	118人
計（延べ人数）		283人

■職員の福祉および利益の保護について■

◇共済制度の概要◇

共済制度は、職員と家族の生活の安定、福祉の向上のため地方公務員等共済組合法に基づき、北海道市町村職員共済組合が実施主体となり次の事業を実施しています。

- ①短期給付事業 病気やけが、出産、死亡、休業、災害などに対する給付
- ②長期給付事業 退職後の年金などの給付
- ③福祉事業 保健事業、貯金事業、貸付事業、物

資購入事業など

また、北海道市町村職員福祉協会にも加入（平成24年度負担金予算額27万円）しており、福利厚生事業（負担金事業、掛金事業、共同事業）のほか、医療給付事業や貸付事業、福祉年金事業などを実施しています。

◇職員福利厚生事業◇

職員の福利厚生事業としては、職員の健康診断を毎年実施しており、平成23年度の健診委託料は、98万8,807円となっています。

■総務課職員係（☎ 47-2112 役場2階 窓口10番）